



ありがとう 大林宣彦さん

尾道市出身の映画作家、大林宣彦さんが亡くなりました。82歳でした。大林さんは、故郷尾道を舞台とした作品「尾道三部作」、「新尾道三部作」などを次々に世に送り出し、尾道の魅力を広く発信されました。

2016年に肺がんが判明した後も精力的に映画を撮り続け、その姿は多くの人に勇気と希望を与えるとともに、遺作「海辺の映画館一キネマの玉手箱」も尾道口ケの作品になりました。

功労に感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



2018年 尾道映画祭にて

明るい未来に向かって！



4月の終わり、世界中で発生している新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、尾道でも学校の休校や不要不急の外出の自粛が続いています。多くのお店が休業し、市役所も業務遂行能力を維持していくため各施設で分散勤務を行うなど中、一部飲食店では店舗での感染リスクを減らすと同時に、自宅等でいつもの味が楽しめるテイクアウトやデリバリーでの販売・提供を始めています。

今、街は閑散としていますが、この危機を一刻も早く収束させ明るい生活を取り戻すため、いましばらく皆さまのご協力をお願いいたします。



支えあいの想い

新型コロナウイルスの感染拡大によるマスク不足が続く中、尾道市老人クラブ連合会の皆さんが、「未来ある子どもたちがコロナウイルスに感染しないよう願いながら」手作りで布マスクを約1,600枚作成し、市内の保育所・幼稚園や小中学校を通じて子どもたちに贈られました。